



2026年5月26日 更新

氏 名 生 天 目 博 文 (なまため ひろふみ)

退職年 2026 (令和8) 年

職歴等

広島大学退職時の所属部局 放射光科学研究所 (先進理工系科学研究科・理学部)

専門分野あるいは特技など

放射光を活用した物質科学研究に従事してまいりました。特技ではありませんが、現職では放射光計測実験において装置開発や実験技術に関する技能を積んでまいりました。近年は、AIやVRなどの新しい情報技術にも関心を持ち、退職後の時間を活かして学習を続けたいと考えています。

職歴等主な活動歴

大学院修了後、東京大学助手から広島大学助教授に採用され、現在に至るまで大学における教育・研究活動に従事してまいりました。民間企業での勤務経験はありませんが、大学での教育研究活動の経験を活かし、放射光科学研究所におけるアウトリーチ活動や地域連携活動にも取り組んでまいりました。

現職：広島大学名誉教授、放射光科学研究所客員教授

地域社会での活動可能事項

○小学生や園児へ向けて

園児向けの経験は残念ながらありません。小学生向けには、4月の科学技術週間、7～8月の夏休みこども見学デー、10～11月の文化週間（ホームカミングデー）などで、科学体験や工作を取り入れた体験型セミナーを提供した経験があります。

○中学生へ向けて

施設見学・体験・実験を組み合わせた科学セミナーを実施してまいりました。毎年、施設来訪校の約半数が中学校からの申し込みでありました。

また、島根県や鳥取県など遠方の中学校に対しては、学校の先生の協力のもとで、VRを活用した仮想放射光施設見学や簡単な実験を含むオンラインセミナーを、ZOOM等を利用して提供した経験もあります。

STEAM教育が注目される中、観察や体験を重視した学習ができるよう、実験用サンプル資料の整備や収集にも取り組んでいます。

○高校生へ向けて

物理学や数学を重視した体験型科学セミナーを提供してまいりました。センサーを用いたICT計測や、光の干渉など教科書で学ぶ内容を実際に体験することで、学校での学びを発展的に理解し、学習意欲を高めることを意識した内容としてきました。

○成人へ向けて

希望する対象者： 一般市民， 地域団体， 科学技術に関心を持つ成人層

主な活動内容：

成人の方々には，放射光施設を実際に見学していただく体験も重要と考え，施設公開イベント等を通じた活動を行ってきました。

一方で，VRを活用することで遠隔からの疑似体験も可能であることから，VR体験を含むVR科学セミナーも開催してきました。広島駅前の「広島大学きてみんさいラボ」において，過去3年程度継続して実施しております。

参加した皆様はVRには高い関心がありましたが，VR酔いへの配慮も必要であると感じています。

○その他，地域社会において可能な活動

東広島市は，「SDGs未来都市ひがしひろしま」として，SDGs推進に取り組む学園都市づくりに協力してきました。

研究活動に励む学生を支援したいと考える地域の方々に声掛け，食料等の支援を頂き，研究所ロビーにおいて学生支援活動を行ってきました。

広島大学マスターズの活動・事業に対する希望事項等

広島大学マスターズの活動・事業が，大学の研究組織や博物館等のプレゼンス向上につながる形で展開されると，より効果的と感じました。

